

平成25年9月24日

学校運営作業部会（#3）資料

1. 開会
2. 協議
 - (1)校名の募集について
 - (2)制服について
3. 報告
 - (1)全国コミュニティスクール研究大会及び佐賀県コミュニティスクール研究大会
 - (2)閉校式について(当日配布)
4. 次回会議内容と日程
平成25年11月 日（ ） 19時00分～20時30分
5. 閉会

(1)校名の募集について

①募集の概要

(ア)告知期間：平成25年11月1日（金）から平成26年1月16日（金）

(イ)告知方法：広報誌、ホームページ、行政放送を基本とし、Facebookのソーシャルネットワークも活用

(ウ)募集期間：平成25年12月16日（金）から平成26年1月16日（金）

(エ)応募資格：玄海町民及び玄海町にゆかりのある方

(オ)応募手段と応募方法

手段	記入内容	応募先
はがき又は封書	専用の応募用紙または必要事項を記入のうえ、応募先に郵送する。(1月16日消印有効)	宛先 〒847-1421 佐賀県東松浦郡玄海町諸浦348番地 玄海町教育委員会事務局教育課 宛
ファックス	専用の応募用紙または必要事項を記入のうえ、応募先にFAXする。	FAX 番号 0955-52-3041
電子メール	件名欄に「小中一貫校名の応募」と記入し、専用の応募用紙または必要事項を本文欄に記入のうえ、応募先にメールする。	電子メールアドレス kyouiku@town.genkai.lg.jp
持参、投函	専用の応募用紙に必要事項を記入し、応募箱に投函する。応募用紙は、各投函場所に設置。	投函場所 玄海町役場、玄海町役場値賀出張所、玄海町町民会館、町内の小中学校、町内の保育園

(カ)応募する際に必ず記入する事項

- ①「校名（ふりがな）」、「通称（ふりがな）」
- ②名前の理由（それぞれに必要）
- ③住所、氏名、年齢、ゆかりの内容(町外在住の場合)

(キ)応募基準

- ①一人につき、1点、1回のみ応募
- ②町内に既存(既存した)校名は対象外
- ③校名・通称名は、漢字・カタカナ・ひらがなで表示する
- ④名前の理由や名前に対する思いなどを必ず記入
- ⑤一貫校のコンセプトや校訓案を参考とする
- ⑥校名・通称いずれかの応募でも可能
- ⑦必要な内容が記入されていない場合または複数応募が確認された場合は、無効

平成27年4月開校 小中一貫校の校名及び通称募集



玄海町では、平成27年4月より小学校及び中学校を統合し、小中学校が一つとなった一貫校を設置します。新しい学校は、1年生から9年生までと一緒に学校生活を送り、協働を通して、生きる力を育む場となる校舎づくりを進めています。

町内1つの学校として、町民の皆様にも親しまれる校名とするため、広く公募致します。学校のコンセプトや校訓案、イメージ図をご参考にご検討ください。

一貫校のコンセプト

～「愛着」を育む9年間の学び～

- ①新しいことに挑戦する子ども
- ②物事の本質を追究する子ども
- ③自らを律する子ども
- ④親、友人、玄海町を愛する子ども
- ⑤世界へ羽ばたく子ども

を育てる学校

一貫校の校訓案



募集する内容

(1)新設する小中学校の校名

条例にて、小学校名・中学校名を規定
卒業証書にはこちらの名称が表記される

(2)一貫校の通称

小中学校を総合的に表し、呼ぶ名前
日常、こちらを使用し、呼称する

お問い合わせ先

玄海町教育委員会 教育課

〒847-1421

佐賀県東松浦郡玄海町諸浦 348 番地

電話 0955-52-2174(直通)

E-mail

kyouiku@town.genkai.lg.jp

1. **募集期間**：平成25年12月16日（火）から平成26年1月16日（金）まで
2. **応募資格**：玄海町民および玄海町にゆかりのある人（「ゆかり」とは何らかの関係があること）
3. **応募手段と応募方法**：次のいずれかの方法で応募ください。

手段	記入内容	応募先
はがき又は封書	専用の応募用紙または4. に示す内容を記入のうえ、応募先に郵送する。(1月16日消印有効)	宛先 〒847-1421 佐賀県東松浦郡玄海町諸浦348番地 玄海町教育委員会事務局 教育課 宛
ファックス	専用の応募用紙または4. に示す内容を記入のうえ、応募先にFAXする。	FAX 番号 0955-52-3041
電子メール	件名欄に「小中一貫校名の応募」と記入し、専用の応募用紙を添付または4. に示す内容を本文欄に記入のうえ、応募先にメールする。	電子メールアドレス kyouiku@town.genkai.lg.jp
持参、投函	専用の応募用紙に必要な事項を記入し、応募箱に投函する。応募用紙は、各投函場所に設置。	投函場所 玄海町役場、玄海町役場値賀出張所、玄海町町民会館、町内の小中学校、町内の保育園

4. 応募する際に必ず記入する内容

- ①「校名（ふりがな）」、「通称（ふりがな）」
- ②名前の理由（それぞれに必要）
- ③住所、氏名、年齢、ゆかりの内容(町外在住の場合)

5. 応募基準

- ①一人につき、1点、1回のみ応募とします。
- ②町内に既存(既存した)校名は対象外となります。
- ③校名・通称名は、漢字・カタカナ・ひらがなで表してください。
- ④名前の理由や名前に対する思いなどを必ず記入してください。
- ⑤一貫校のコンセプトや校訓案を参考に考えてください。
- ⑥校名・通称いずれかの応募でも可能です。
- ⑦必要な内容が記入されていない場合、複数応募が確認された場合は、無効となります。

6. 選考

- ①応募された「校名」及び「通称」ごとに学校運営作業部会で選考を行い、複数案を玄海町立小中学校基本構想等検討委員会(以下、検討委員会という)に提案
- ②検討委員会は、提案内容を協議したのち、教育委員会へ提案
- ③教育委員会は、提案内容を協議したのち、町長及び議会 教育環境調査特別委員会へ提案
- ④校名は、玄海町議会に条例改正案として上程



応 募 用 紙

校 名※1	
ふりがな	()
小学校名	玄海町立 () 小学校
ふりがな	()
中学校名	玄海町立 () 中学校
名前の理由 〈必ずお書きください〉	

通 称※2		
A 欄 希望するものにチェック (レ) を 入れてください。	B 欄 希望する名前を記入してください。	C 欄 希望するものにチェック(レ)を入れてく ださい。
<input type="checkbox"/> 玄海町	ふりがな	<input type="checkbox"/> 小中一貫校
<input type="checkbox"/> 玄海町立		<input type="checkbox"/> 学園
<input type="checkbox"/> 小中一貫校		<input type="checkbox"/> 学院
<input type="checkbox"/> 玄海小中一貫校		<input type="checkbox"/> 小中学校
<input type="checkbox"/> その他 ()		<input type="checkbox"/> 館
<input type="checkbox"/> なし		<input type="checkbox"/> その他 ()
名前の理由 〈必ずお書きください〉		

例) A 欄「玄海町」にチェック、B 欄「あいうえお」と記入、C 欄「学園」にチェックすると、

<input checked="" type="checkbox"/> 玄海町	あいうえお	<input checked="" type="checkbox"/> 学園
-----------------------------------------	-------	----------------------------------------

『玄海町あいうえお学園』と表記されます。

氏 名		年 齢	歳
住 所			
町外在住の場合は、 「ゆかり」の内容を記入			

※ 1 「校名」・・・条例にて、小学校名・中学校名を規定する。卒業証書にはこちらの名称が表記される。

※ 2 「通称」・・・小中学校を総合的に表し、呼ぶ名前。日常、こちらを使用し、呼称する。

事例) 多久市の小中一貫校

校 名	多久市立中央小学校、中央中学校
通 称	小中一貫校 東原庁舎(とうげんしょうしゃ) 中央校

(2)制服等の選定について

①検討委員会協議内容

(ア)メリット・デメリット

メリット	デメリット
(ア) 統一感・連帯感がある (イ) 登校前に服を選ぶ手間が不要 (ウ) 規律を守る意識を育む (エ) 生徒指導が容易	(ア) 購入時の値段が高い (イ) 服装の自由度が無い

(イ)アンケートの結果（詳細は別紙1のとおり）

- ①対象：保育園及び小学校のいずれかに長子をもつ保護者
- ②回答者数 358人中240人（67%）
- ③制服の導入 240人中202人（84%）
- ④導入学年 回答数202人

全学年	5年以上	7年以上	その他
71(35%)	18(9%)	112(56%)	1(0%)

(ウ)検討委員会の主な意見と取り纏めの方向性

- (意見)平成27年4月、今の6年生が中3になったとき、新しい学校になる。その時はすでに、現在の制服を着ているので、新しい制服にかえるというのは、難しい。現制服と新制服が混在する期間はあるはず。何年生からきちっと新しい制服に替えるのか、決めておく必要がある。例えば4年生以下と5年生以上で制服のデザインを変えたとすると、1年で買い替えることも出てくる。どの場面で揃えるのか念等に置いておかないといけない。
- (意見)制服を引き継いでいくという感覚が今の状況ではあまりなく、そのような形を整えるには、多少時間がかかるであろう。ローテーションするという感覚を保護者も知ってほしい。
- (意見)制服購入の負担については、バザー等で着回しすることもしてほしい。制服を導入することで、新しい学校になったということが外部からもはっきり見える形になるのではないか。
- (意見)全学年に導入するパターンが良い。アンケートでは、7～9年生からという意見が多いので、その点に対する説明が必要。
- (意見)1～4年生に制服が必要なのか。5～9年生には必要なもの。思春期前後で区分できる。デザインは同じものでよい。
- (意見)全学年に導入するパターンが良い。制服を公的な場で使用することもあり、便利。修学旅行では、一体感が見え、玄海町の子供と認識がしやすい。デザインの問題や費用面の課題あるが、全学年あってもいいのではないか。
- (意見)費用面のことを考えず、学年区分のことを考えたら、全学年に導入してもよいのではないか。費用面を考えると着回し等で対応可能。
- (意見)全学年に導入するパターンで、学年区分ごとに変化を持たせるのが良いのでは。親は買い替えのことも考えて、大きめのものを買うので、心配はない。動きやすいものがよい。

(意見)全学年に導入するパターンが良い。ズボンのチャックなど細かな作業が無いものが良い。

(意見)アンケートで5年以上の回答が少ないところをどう説得、説明するのかが課題だが、制服が新しい学校として存在するものでよいか。

(まとめ)アンケートの結果で7年以上と答えた保護者に対する説明など克服する課題はあるものの、広く9年間を見据えて、全学年に導入するということを仮決定とする。

(エ)他校の事例

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
品川区伊藤学園	低学年用着用				高学年用着用				
箕面市とどろみの森学園	自由服						制服着用		
府中市府中学園	小学生用着用						中学生用着用		
登米市豊里小中学校	自由服						制服着用		
つくば市春日学園	自由服				希望制		制服着用		
大分市賀来小中学校	低学年用着用				高学年用着用				

大分市賀来小中学校



前期（1年～4年）

中・後期（5年～中3）

A. 導入時期

小中一貫校を設立した平成19年度から導入。それまで小学校は自由服。

B. 使用形態

日常的に着用。体操服は、全学年統一。

C. 買い替え

前期と中・後期の制服は異なるため、必ず5年生になる際、買い替え。このときの買い替えも成長に合わせた買い替えも個人負担。

D. メリットとデメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたち自身が制服を着ることにステータスを感じ、気持ちの面で大きく成長したように思える。 どこの児童生徒であるかすぐ分かることから、学校の顔としての自覚も出る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校で着方の指導が必要 冬場の温度調整が難しい

②協議事項

(ア)前提条件

検討委員会の仮決定：全学年に導入

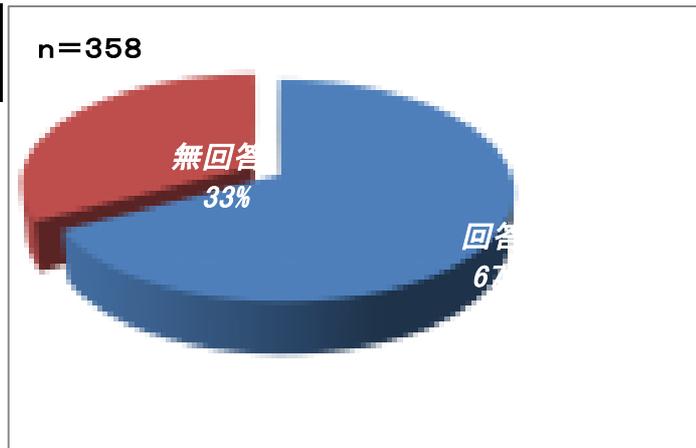
(イ)協議の内容

- a. 全学年に導入することに関して、再確認
- b. 制服とするか、標準服とするか
 - ・制服の定義：着用する服装を定める。定められた服のみ着用可。例）中学生の制服
 - ・標準服の定義：基準となる服装を定める。その服装に準じた服を着用する。例）浜崎小の制服(ズボンは決まっているが、上着は白ポロシャツで可)
- c. 全学年同一デザインとするか、学年区分で分けたデザインとするか、小学生と中学生で分けたデザインとするか
- d. 制服等の一着あたりの金額の上限はどの程度か
- e. 制服等を製作するうえでの条件はなにか
- f. 現行制服着用学年の運用
- g. どのような手順で制服等を選定するか
- h. 制服等を導入するにあたり課題はあるか

玄海町立小中一貫校の制服に関するアンケート調査結果

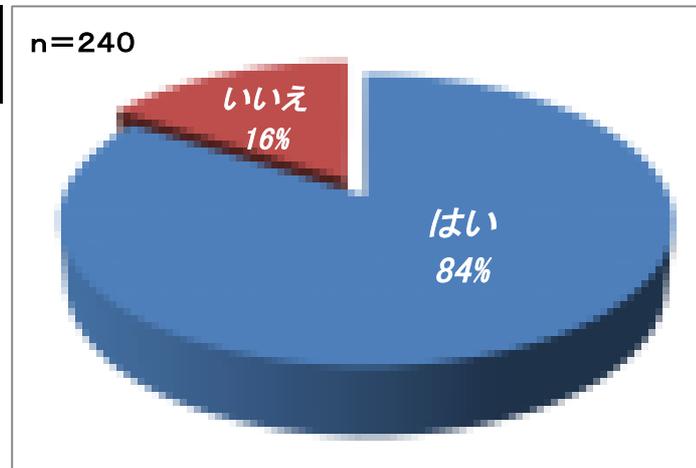
回答者数 (人)

回答	無回答	計
240	118	358



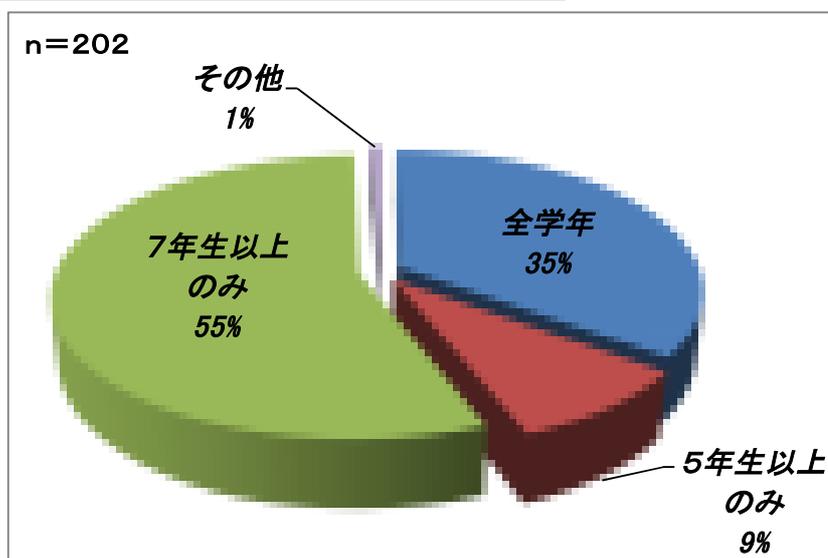
Q 1. 制服を導入したいと考えるか

はい	いいえ	計
202	38	240



Q 3. 何年生に制服を導入したいか

全学年	5年生以上のみ	7年生以上のみ	その他	計
71	18	112	1	202



Q 2. 導入したい理由（記入者70名）

私服を買わなくて済む、費用がかからない	24
服選びに時間がかからない、手間がかからない	19
服装の乱れがない、華美にならない、引き締まる	10
まとまる・統一感	14
みんな同じ、いじめられない	8
平等、生活水準の差が出にくい	7
自覚を持たせることができる	6
学生とわかる、見守り、安全確保	4
教育に力を入れられる	3
区別がつく	3
賢く見える、清潔感がある	2
ルールを守る意識	1
冠婚葬祭に使えて便利	1

Q 2. 導入したくない理由（記入者21名）

お金もったいない、お金がかかる	9
成長にあわせ、買い替えが必要	8
私服が子どもらしい姿	3
季節や気分、TPOで選ばせることも必要	2
私立ではないので、私服でよい	2
個性を持たせることも必要	1
個人の自由	1
汚したりするので、もったいない	1
制服で束縛したくない	1

Q 4. 自由意見

①全学年導入選択者の意見（記入者50名）

デザイン・色・形状などについて	28
洗濯が可能	27
安い・低価格	19
サイズ調整が可能	8
可動性・動きやすい	5
どんな形でもOK	1
無料	1

②5年生以上のみ（記入者13名）

洗濯が可能	12
デザイン・色・形状などについて	7
安い・低価格	5
可動性・動きやすい	3
購入時に町補助を望む	2
高学年の自覚を持たせ、5年以上	2
サイズ調整が可能	1
低学年は汚す・破くので、5年以上	1
買い換えが負担になるので、5年以上	1
他校の導入事例を参考に	1

③7年生以上のみ（記入者79名）

洗濯が可能	35
デザイン・色・形状などについて	26
現行どおりでよい	25
買い換えが負担となるので7年以上	20
安い・低価格	15
サイズ調整が可能	11
中学生の自覚、小中の区別をつける	8
低学年は汚す、破く、もったいない	7
可動性・耐久性があるもの・素材	4
必要ない	2

④その他（記入者1名）

8～9年生のみ	1
---------	---

意見をキーワードで振り分けました。

全国コミュニティスクール研究大会報告書

1. 期日：平成 25 年 7 月 30 日（火）
2. 内容：各地域のコミュニティスクールの現状
3. 内容

(1)教育長リレー討議

①津市教育委員会（中野教育長）の取組

A. 主な活動

- ・学校支援ボランティアによる学習活動への支援
- ・安全パトロール活動
- ・ナイトスクールの運営
- ・町内祭りへの参画

B. コミュニティスクールの成果

- ・地域がどうかしないという気持ちの変化。
- ・親でも先生でもない人が子供と接することで、子どもたちの落ち着きが見られる。
- ・組織が地域と学校を結び付け、地域で学校を育てる意識の醸成

②京都市教育委員会（生田教育長）の取組

- ・学びのフィールドを地域、学校に求める＝大人すべてが先生
- ・学校長の裁量は大きい。教育委員会の方針とボトムアップをうまく接続する。学校裁量を広げるため、自由な補助金を創設。活用するためにはしっかりした地域基盤が必要。

③由利本荘市教育委員会（佐々田教育長）の取組

- ・地域活性化対策として、協働で花いっぱい運動を実施。ふるさと教育の延長。
- ・コミュニティとして、学校長のまちづくりと地域のまちづくりが一致する。

④組織的支援を受けるための方策

京：子ども、学校の持つ課題を表にだし、共有できること。

学校統合による新しい学校づくりに対して、参画意識を高める。協力すれば、学校も変わるということを認識する。

由：新しい学校に地域の伝統を組み込んでいく。

津：地域の人も中学校卒業時の成長を意識して育成する。教職員の意識を変える。

由：地域の情報源は、図書館。地域コーディネーター的存在でもあるのでは。

⑤小中一貫校の体制に必要なもの

津：教職員の意識改革が必要。

由：明るく喜び、一つの者を作り上げる、夢を乗せる、夢を抱く。

京：当事者として参加し、チームとなって取り組むこと。

(2)実践発表

山口市立大殿小学校、岡山市教育委員会、京都市下京中学校、久世西小学校より発表。
京都市下京中学校の取組について報告

①山口市立大殿小学校

テーマ「みんなの手で輝く学校づくり～地域とともに～」

- ・地域学校支援本部の地域コーディネーターとして学校に常駐。
- ・コーディネーターは学校が希望している人材との調整役。ボランティアのつ発掘も実施。
- ・登録ボランティアが毎年1回は何らかの形で活動に携わるよう配慮。
- ・中学生が小学生に夏休み宿題の支援、伝統工芸学習などの活動を支援。
- ・ボランティアが子どもと接することで、子どもに声掛けができるようになった。

②京都市下京中学校

テーマ「一人一人のキャリア形成を育む小・中・高の接続と地域連携」

- ・京都市下京区 15歳以下は1割、65歳以上は2割の構成比
- ・学校の強みと弱みを見極め、内部の弱みを外部の強みでまかなう。
- ・学校の活動に対して。地域のエネルギーを頂き、再生エネルギーとして、地域に変換する。
- ・登校の学校運営協議会は地域支援本部に近い組織。
- ・高校との協働によるポスターセッション活動の実施。
- ・地域の方の協力による浴衣登校。子供たちの浴衣の寸法合わせや浴衣の提供などに協力的。
- ・地域に第一線で働く方の声を活用したキャリア教育。

③コーディネーターのまとめ

- ・コミュニティスクールのキーワード
 - a. 埋める・・・学校支援活動を通して、学校で足りない部分を埋めていく
 - b. 正す・・・学校課題だけでなく、地域の課題をどう解決していくか、課題・問題がある部分を学校運営協議会で正していく。
 - c. 活かす・・・地域資源をどう活用していくのか。
 - d. 知らせる、知る・・・狙いが無い中で単に情報を発信するのは垂れ流し。学校で足りない部分を埋めるため、課題や問題を正すため、地域人材等を活かすために情報を提供したり、集めることが必要。
 - e. つなげる・・・小小連携、保小連携、小中連携となんら中の形でつなげていく。つなげることで教育効果につながる。

佐賀県コミュニティスクール研究大会報告書

1. 期日：平成 25 年 8 月 23 日（金）
2. 内容：各地域のコミュニティスクールの現状
3. 内容

(1)実践発表

唐津第一中学校、北方中学校、明倫小学校、塩田中学校、城南豊夢学園

①コミュニティスクールの広報活動

北方－FB に掲載、学校だよりで保護者へ。認知度は低い。

塩田－学校だより、広報誌で全戸配布、保護者アンケートでは認知度 80%

城南－学校だより、8 割程度の認知度

一中－学校便り、コミュニティスクールに関与されている関係機関では認知が進む。

明倫－約 8 割が認知。

②活動費について

明倫－研究費（約 10 万）で運営

塩田－国の指定を受けているため、その補助金で運営

城南(赤松)－市関連予算と CS ファンド(約 50 万、100 周年の際の寄付)、PTA バザー
収益金で補填

一中－市費と活動協力企業からの支援等で運営

③学校運営協議会の時期と回数

明倫－昼間に実施、仕事を休んで会議に参加する人もいる。

城南－学期に 1 回程度。夜間に実施

一中－年に 5 回、夜間

北方－年に 5 回、15 時ごろから

塩田－年に 4 回、16 時ごろから

④PTA との棲み分け

一中－PTA とは別組織、PTA 関係者も協議会に参加。活動にダブリはある。

北方－活動にダブリはある。PTA との合同挨拶運動を実施したり、激励会は PTA が
主導。

明倫－PTA の行事に参加いただいている。見守り隊は別組織。地域と一緒に活動。

塩田－PTA 活動と CS 活動に境目がない。

城南－PTA 活動も包括した取り組みになっている。

⑤立ち上げ時のメンバーや課題について

北方－何をメインにするかによる。組織は学校評議員、商工会、区長を基礎とした

明倫－PTA、学校評議員が母体となる。メンバー募集も行う。学習内容で取り組みや
すいことから取り入れている。

塩田ー地域行事をベースに実施している。基礎組織はボランティア団体
城南(赤松)ー中だるみが出てきている。リーダーシップが必要。

ー中ー先進校をモデルに実施。学校主導での運営、学年ごとの活動や個々の活動に限
られてきている。

(2)コミュニティスクールのさらなる創造（春日市教育委員会 山本教育長）

講演の主なキーワード

- ・教育の主体は学校と家庭、その力が育つことが必要。地域は支援者
- ・家庭力を上げる取組み。特に親が「接する力」親が「しつける力」親が「研さんする力」が必要と考えられるが、家庭教育力の育成には強制力がないので、どうあげていくのが課題。CSやPTAを通じた取組みを実施。
- ・学校、家庭、地域それぞれに役割があるので、その役割を果たすことが必要。
- ・学校と家庭のカリキュラム、学校と地域のカリキュラム、三者連携のカリキュラムを年間指導計画に織り込む。生涯学習の視点を取り入れる。
- ・コミュニティスクールの中で育つ子どもは、市民性が高い。地域社会への協力につながり、市民の成熟度が高まる。
- ・学校と学校運営協議会は目標を共有化する。
- ・活動の中で、地域が学校に、学校が地域に貢献する双方向の関係が重要

平成25年9月24日

閉校式典について

1. 平成21年度三小学校閉校記念事業の実施状況

	内 容	金 額
有浦小学校	1. 記念式典 平成22年3月24日 思い出スライドショー、校旗返納 2. 航空写真 一文字の航空写真撮影、下敷きを作成し、児童、保護者、教職員に配布 3. 記念クリスタル 児童、保護者、教職員に配布 4. 閉校記念誌 卒業写真などをまとめた記念誌を有浦小校区民に配布 5. 実行委員会 H21年9月～H22年2月	2,575,170 円
牟形小学校	1. 閉校記念式典 閉校記念式典、お別れ懇親会、記念碑除幕 平成22年3月28日 2. 閉校記念湯呑 児童、保護者、式典参加者に配布 3. 閉校記念誌 卒業写真などをまとめた記念誌を牟形小校区民、式典参加者に配布 4. 実行委員会 H21年4月～H22年3月	3,060,202 円
仮屋小学校	1. 閉校記念式典 閉校記念式典、お別れ懇親会、モニュメント除幕 平成22年3月27日 2. 閉校記念品 航空写真の下敷き作成、DVD作成配布 3. 閉校記念誌 卒業写真などをまとめた記念誌を仮屋小学校区民、式典参加者に配布 4. 実行委員会 H21年5月～H22年3月	3,400,383 円
合計		9,035,755 円

2. 閉校式典等に係る予算等について

(1)目安となるスケジュール

	一応の 期限	H25 年度	H26 年度
(キ)閉校式	H25.12	▼ ★	● →

当初予算申請期限：12月

当初予算可決された場合、予算の執行は4月から可能。

(2)予算の執行方法

①三小学校閉校時

各小学校において、閉校記念事業実行委員会を発足。

各実行委員会で実行計画と予算を提出。予算に基づき概算支出。補助金として交付。

補助金を実行委員会で管理し、支出した。